

# 黒潮

## 和歌山県看護協会会報

平成21年5月発行

# 第107号

— 総会特集号 —



生石高原

写真：会員から(投稿)

## CONTENTS

• 総会に向けて	2	地区支部報告	13
• 平成21年度 通常総会プログラム		• 保健師のコーナー	17
理事会報告	3	• 助産師のコーナー	17
第一号議案～第四号議案	4	• 看護師のコーナー	17
第五号議案	5	• まちの保健室	18
第六号議案	7	• リレーエッセイ	18
職能委員会報告	8	• 私の○○	18
常任委員会報告	9	• My Hospital	19
特別委員会報告	10	• トピックス・2009	20

会員総数	4,939名
名誉会員	1名
保健師	128名
助産師	170名
看護師	4,128名
准看護師	512名
平成21年5月20日現在	

# 平成 21 年度通常総会に向けて

社団法人和歌山県看護協会

会 長 木 村 佐 多 子

木々の若葉が一斉に芽吹き新緑が目にも鮮やかな季節となりました。各施設ではそれぞれ新人を迎え、活気と緊張の中、お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。私も会長として10ヶ月が過ぎ、平成20年度事業をなんとか無事に進めることができ、これもひとえに理事役員始め委員会・会員・職員の皆様や関連機関のご指導ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今、少子高齢化が加速し、「治療重視」から「予防重視」「在宅医療推進」へと改革が進められ、三職能には専門性の強化と役割発揮が強く求められ、これらの期待に応えるためにも職能団体として、三職能の専門性の強化、働き続けられる職場環境作りへの支援が重要課題だと考えています。

21年度スーガン（案）は、「激動の時、変革に向けて看護の力を強化・結集して県民の期待に応えよう」と致しました。重点事業（案）は①看護職能団体としての組織の強化 ②看護職の確保・定着に向けた事業推進 ③看護職のキャリア開発を支援し自律を育む教育の推進 ④時代の要請に対応した三職能の専門性の強化 ⑤療養生活を支える訪問看護の推進と安定的なサービス提供体制の確保 ⑥将来に向けての新看護研修センター建設への取り組みの6点を掲げました。

看護職のキャリア開発に関しては継続教育の充実は勿論、管理者や指導者の育成も重要です。念願である「認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修」開講に向けて教育機関の認定申請中で、認められますと9月開

校となります。また、看護職確保対策におけるリフレッシュ研修や在宅医療に関わる管理者や潜在スタッフの育成研修も実施予定です。

新公益法人移行に関しましては、日本看護協会の動向に併せて活動理念や活動内容、組織の在り方等について会員の皆様のご意見も伺いながら検討してまいります。

組織強化に関しましては、諸般の事情から平成20年度は、会員数は当初目標を大きく下回り5,505名となっております。役職員一同、更に力を合わせ、地区支部との連携を深めながら目標達成に向けて取り組んでまいり所存です。

さて、平成20年度通常総会で承認頂いた「看護研修センター土地確保と建設」に関しては、皆様方にもお知らせ致しました。現在の会館は昭和63年建築され当時の会員数と比較しても、現在倍以上に増加し教育機関として手狭であることは明白であります。活動拠点として将来の展望が開けるような教育機関の実現を目指して、会員各位のご理解を頂いた上で決定して頂きたいと切に願っておりますので、通常総会では多くの会員の皆様のご参加をお願い申し上げます。

予想を遥かに超える勢いで変革が進む中、役職員一同力を合わせて、県民や会員の期待される協会作りに勤めてまいりますので、今後も会員の皆様のご支援・ご協力宜しくお願い申し上げます。

## 平成 21 年度 和歌山県看護協会

● 日 程：平成 21 年 6 月 6 日（土）

12:20 開 場  
12:50 オリエンテーション  
13:00 開 会  
会長挨拶  
来賓祝辞（来賓紹介・祝電披露）  
和歌山県看護協会会長表彰  
（休 憩）  
13:50 議長団選出  
議事録署名人選出  
平成 20 年度総会議事録朗読  
理事会報告  
職能委員会報告

## 通常総会プログラム

● 場 所：和歌山県民文化会館 小ホール

常任委員会・特別委員会報告  
地区支部報告  
14:15 提出議題審議  
（第一号議案～第六号議案）  
16:15 選 挙  
新役員紹介  
旧役員への謝辞  
旧役員の挨拶  
綱領宣言  
看護協会歌合唱  
16:30 閉 会

# 理事会報告

## I 理事会等開催状況

### 1. 常務理事会

回	開催日	時間	出席者	
			常務理事	
1	平成20年4月30日	10:00～12:30	6	
2	平成20年6月17日	13:30～16:30	5	
3	平成20年8月6日	10:00～12:30	8	
4	平成20年11月5日	10:00～12:30	7	
5	平成21年2月4日	13:30～16:40	7	
6	平成21年3月25日	10:00～12:30	8	

### 2. 理事会

回	開催日	時間	出席者				
			常務理事	理事	監事	事務局	看護研修センター建設推進委員
1	平成20年4月30日	15:30～17:30	7	7	2	2	—
2	平成20年6月3日	16:20～16:50	7	9	2	2	—
3	平成20年7月4日	10:00～12:30	8	8	2	2	—
臨時	平成20年7月22日	13:00～15:00	8	4	1	2	3
4	平成20年8月6日	13:30～15:10	8	7	1	2	—
5	平成20年11月5日	13:30～16:00	7	8	2	2	—
臨時	平成21年1月23日	13:30～16:10	7	7	1	2	4
6	平成21年3月25日	13:30～17:00	8	7	2	2	—

### 3. 理事・各委員長・地区支部長合同運営会議開催状況

回	開催日	時間	出席者				
			常務理事	理事	監事	委員長	事務局
1	平成20年4月30日	13:30～15:30	6	8	2	12	2
2	平成20年7月4日	13:30～15:30	8	9	2	13	2

### 4. 代議員会開催状況

回	開催日	出席者	
		代	議 員
1	平成20年5月13日	25	

## II 理事会主な協議事項

#### 第1回理事会 平成20年4月30日(水) 15:00～16:30

- 報告事項
  - 第1回法人会報告
  - 平成19年度事業実施報告
  - 平成19年度決算報告
- 協議事項
  - 和歌山県看護協会定款の一部改定について
  - 看護研修センターの土地取得と建設計画について
  - 預託金制度について

以上承認される

#### 第2回理事会 平成20年6月3日(火) 16:20～16:50

- 協議事項
  - 地区理事の異動について
  - 駐車場借り上げについて
  - 公認会計士の件

以上承認される

#### 第3回理事会 平成20年7月4日(木) 10:00～12:30

- 確認および協議事項
  - 定款・細則および組織機能図
  - 平成20年度通常総会決議に基づく事業の実施について
- 常任委員会・特別委員会への諮問事項について
- 第六号議案 定款一部改正
- 第七号議案 看護研修センターの土地取得と建設計画

- 平成20年度地区支部活動および助成金について
  - 平成21年度本協会・県協会の運営に対する提案・要望について
  - その他 駐車場の件
- 以上承認される

#### 臨時理事会 平成20年7月22日(火) 13:00～15:00

- 協議事項
  - 看護研修センター土地確保と建築について
  - 第1期預託金納入に関して
  - ワーキンググループについて
  - その他

以上承認される

#### 第4回理事会 平成20年8月6日(水) 13:30～16:00

- 報告事項
  - 法人会報告
  - 職能委員長報告
  - 災害看護担当者会議報告
  - 拡大医療安全推進会議報告
  - 和歌山県ナース章の推薦について
- 協議事項
  - 施設会員代表者会議開催について
  - 看護研修センター土地確保と建設について
- その他
  - 第37回医療功労賞の推薦
  - ヘルシー・ソサエティー賞の推薦
  - 行政・関係団体等の会議参加報告
  - 北方領土返還署名
  - その他

以上承認される

#### 第5回理事会 平成20年11月5日(水) 13:30～16:00

- 報告事項
  - 地区別法人会報告・職能委員長報告
  - 平成20年度中間監査報告及び事業経過報告
  - その他
- 協議事項
  - 平成20年度事業計画に向けての提案・要望事項について
  - 看護研修センター土地確保と建設について
  - その他

以上承認される

#### 臨時理事会 平成21年1月23日(金) 13:30～16:00

- 看護研修センター土地確保と建築について
  - 11月5日の理事会以降の経過
  - 平成20年度通常総会での承認事項の確認
  - 会員数の現況と平成21年度預託金の予想
- その他
  - 地区支部・委員会報告用紙について
  - 専務理事の推薦について
  - その他

以上承認される

#### 第6回理事会 平成21年3月25日(水) 13:30～17:00

- 提案事項
  - 平成21年度事業計画(案)について
    - スローガン(案)・重点事業
    - 平成21年度事業計画(案)
  - 平成21年度教育計画
  - 平成21年度一般会計予算(案)について
  - 新看護研修センター土地確保と建設について
  - その他
- 報告事項
  - 平成21年度和歌山県看護協会長表彰推薦について
  - 平成20年度第1回審議員会について
  - 平成20年度第2回都道府県職能委員長報告
  - その他

以上承認される

- 第一号議案 平成20年度事業報告(案)  
 第二号議案 決算報告(案)及び監査報告(案) ※内容は総会要綱に掲載

第三号議案 平成21年度和歌山県看護協会のスローガン(案)

「激動の時、看護職の力を変革に向けて強化・結集し、県民の期待に応えよう」

第四号議案 平成21年度事業計画(案)

重点事業(案)

1. 看護職能団体としての組織の強化
2. 看護職の確保・定着に向けた事業推進
3. 看護職のキャリア開発を支援し自律を育む教育の推進
4. 時代の要請に対応した三職能の専門性の強化
5. 療養生活を支える訪問看護の推進と安定的なサービス提供体制の確保
6. 将来に向けての新看護研修センター建設への取組

項目	目標	事業	事業および内容	
I-1 組織の強化	1) 協会組織強化	(1) 会員数の増加・拡大	①目標5,600人 ②看護教育機関への働きかけ・行事への参加(入学式・就職式・卒業式出席・祝電) ③看護学生への働きかけ「職場探しサポートブック」普及 ④県看護教育機関連絡協議会との連携 ⑤会員研修の充実 ⑥セカンドキャリア会員の増加促進 ⑦未加入施設等への会報「黒潮」送付	
	2) 地区支部との連携及び支援	(2) 地区支部との連携及び支援	①連携のための協議と情報交換・施設会員代表者会議開催(年2回) 合同研修1回 地区支部単位1回 ②事業展開のための要望・提案 ③助成金の交付 ④事業展開のための情報提供 ⑤ホームページ活用(eメール・インターネット活用)	
I-2 組織の運営	2) 会員サービスの充実	(1) 会員等への情報提供	①ホームページ、eメールの活用 ②「黒潮」会報年4回発行 ③看護職賠償責任保険加入の案内 ④「選ばれる職場づくり」や「職場探しサポートブック」の普及 ⑤看護者の倫理綱領の普及促進(「黒潮」発刊時同時配布)	
	(2) 研修による啓発	(2) 研修による啓発	①新入会員オリエンテーション・研修会開催 ②会員ハンドブック・定款・細則・会員バッジ等配布 ③会員教育の充実	
I-2 組織の運営	1) 円滑な組織運営	(1) 諸会議開催に関する事	①通常総会 年1回以上 ②常務理事会 年6回 ③理事会 年6回 ④理事・各委員長合同運営会議 年2回 ⑤代議員会 年1回 ⑥職能委員長会 年2回以上 ⑦各委員会(常任・特別) 適宜 ⑧各職能別集會 年1回	
	2) 広報活動	(1) 会報「黒潮」の充実	①県看護協会ホームページの活用 ②会報「黒潮」の内容充実(4回発行)ホームページによる公開	
	3) 会員の福利厚生	(1) 個人情報保護とその取扱整備 (2) 各章候補者の推薦 (3) 慶弔見舞他	①個人情報保護の管理 ②個人情報取り扱いマニュアルの運用 ①日本看護協会会長表彰・県ナース章・県看護協会会長表彰他 ①慶弔・災害見舞等 ②役員・委員等の公務災害補償等	
I-2 組織の運営	4) 公益法人制度改革への対応	(1) 新公益法人認定に向けての準備	①情報収集と情報提供 ②現状分析と協会事業の見直し	
	5) 新看護研修センター建設に関する検討	(1) 建設に関する検討と情報の提供	①看護研修センター建設に関する具体的検討 ②建設資金確保に向けての具体的取り組み ホームページや会報による広報	
	6) 事務局運営体制強化	(1) 事務局組織の改編と事業運営の強化	①組織の見直し(機能や定款等の見直し) ②各役割と業務の見直し	
	II ナースセンター事業	1) ナースセンター事業強化	(1) 就業に関する相談指導及び斡旋 (2) 行政及び関係機関との連携 (3) NCCS新システムの管理と運用の整備	①ナースセンターより発行(年4回) ②求職・求人登録の推進 ③求職者への相談支援 ④有効登録者の整理 ①近畿地区間での連携と情報交換 ②県及び中央ナースセンターとの連携 ①NCCS新システムのスムーズな活用
		2) 看護職確保と職場定着促進	(1) 看護職の再就業支援及び職場定着促進 (2) セカンドキャリア開発支援事業	①看護職職能・社会経済福祉委員会との連携 ②再就業・離職防止相談事業の強化 ③リフレッシュ研修(新人・卒後3~5年目対象) ④再就業者支援研修 ⑤看護職確保定着推進事業の趣旨周知 ・看護管理者や看護学生への働きかけ ・マニュアルハンドブックの普及啓発 ①セカンドキャリア委員会の活性化 ②登録の促進と積極的なキャリア活用
		3) 「看護の心」の普及事業	(1) 「看護の日」「看護週間」事業	①「ふれあい看護体験」県内高校生対象 ②各地区「看護の日」事業の実施 ③「1日まちの保健室」開催 ④「マスコミ」を通じた広報活動
II ナースセンター事業	4) 訪問看護推進事業	(1) 訪問看護に関する連携の推進	①訪問看護推進協議会の充実(年2回開催) ②訪問看護師・施設看護師相互研修 ③資質向上のための潜在看護師研修(技術研修) ④訪問看護ステーション管理者研修	
	III 看護実践に関する事項	1) 看護の質保証の推進	(1) 看護者の倫理観の育成	①関連研修等による指針普及と啓発 ②倫理だより発行 黒潮発行時配布(看護職能委員会)
		2) 各職能委員会活動	(1) 各職能の連携強化と各専門性の強化 (2) 看護職の業務拡大に伴う課題検討と見直し	①各職能集会和三職能合同研修会(9/5) 看護職の職場定着(いきいきと働き続けられる職場づくり) ②各職能委員長会議開催し、職能間の課題の検討 ①日本看護協会と連携 ②情報収集と情報提供
III 看護実践に関する事項	1) 保健師職能活動	(1) 保健師の専門性を発揮するための基盤強化推進	(1) 保健指導の拡充と人材育成 (2) 保健師の連携強化・ネットワークの推進 (3) 会員獲得に向けての取り組み	①保健指導プログラムの推進と活用 ②特定保健指導実践育成研修について検討 ③保健看護ミーティングの検討 ①関連団体との連携・協働 ②保健師活動の基礎調査 ③災害時保健活動体制に関する実態調査
		2) 助産師職能活動	(1) 助産師の質向上を図り主体的な助産師活動を支援する (2) 災害時のネットワークの構築 (3) 子供虐待防止と子育て支援 (4) 思春期保健指導	①院内助産・助産外来開設予定の施設の現状把握と問題点と課題の検討 ②妊産婦、乳幼児への防災対策 ①「まちの保健室」への協力(助産ブース設置) ②出前教室による保健指導(小・中・高の学校対象)
	2) 看護実践に関する事項	1) 安全・安心納得のできる看護の提供と看護職の質向上	(1) 職場定着促進 (2) 組織強化のための看護協会の魅力をPRと会員増 (3) 地区支部活動との連携 (4) 「看護者の倫理綱領」の推進 (5) 認定看護師の連携と協働	①中堅看護士の職場定着に関する実態調査 ②ワーク・ライフ・バランスの実現推進と施設紹介 ③日看協「暴力対策指針」「看護職が遭遇する暴力等に関する事例集」の活用促進
III 看護実践に関する事項	2) 医療安全	1) 医療・看護における安全対策	(1) 医療安全体制の強化	①医療安全管理者要請研修(5回) ②近畿地区リスクマネージャー交流会への協力・ネットワークづくり・情報交換 ③医療安全管理者養成研修修了者への支援・フォローアップ研修開催 ④県内リスクマネージャー交流会開催 ⑤全情報の提供(黒潮やホームページ等)
		2) 事故発生時の対応	(1) 会員に対する相談・支援 ②看護職賠償責任保険の普及 ③医療安全に関する情報提供 ④ガイドラインの普及推進	
III 看護実践に関する事項	3) 災害看護支援	1) 災害看護支援体制の整備	(1) 災害時の看護支援体制の検討	①災害看護支援ナース登録システムの構築 ②災害看護支援ナースの養成研修 ③災害時医療救護におけるリーダー養成 ④災害看護支援体制マニュアルの完成 ⑤マニュアルの浸透と活用
		2) 災害への備えと支援活動のネットワークの強化	(1) 災害への備えと支援活動のネットワークの強化	①県災害対策本部との連携と災害支援ナース派遣 ②日本看護協会と各都道府県合同訓練(8/26-27/28予定) ③被災看護協会への災害支援ナース派遣

項目	目標	事業	事業および内容
IV 市民の健康 への推進	1)「まちの保健室」事業の充実	(1)「まちの保健室」活動	①「まちの保健室」開催 奇数月の第3土曜日・看護週間における「1日まちの保健室」の開催 ②セカンドキャリア登録と活用 ③和歌山県医科大学保健看護学部との連携 ④各職能委員との連携した活動
	2)高齢者の権利擁護		①高齢者権利擁護実務看護職員研修(県委託事業) ②高齢者権利擁護推進員養成研修(県委託事業)
V 教育に関する事項	継続教育	1)専門職としての教育研修の推進	(1)継続教育の推進 社会の動きに対応できる研修の開催 ①平成21年度会員教育計画の実施と評価・教育プログラム ②研修の参加申込みの簡素化(ホームページ活用) ③環境整備 インターネットでの文献検索の充実
	看護研究	1)研究活動推進	(1)和歌山県看護研究会開催 ①企画・運営(開催予定日 H22年2/27) 評価 (2)近畿地区看護研究会への参加 ①開催への協力と参加呼びかけ(奈良県)(開催予定日12/9) (3)図書整備と活用支援 ①図書の整備と活用支援 ②インターネットによる文献検索の支援
		1)認定看護管理者教育課程の充実と推進	(1)認定看護管理者制度教育課程の円滑な運営と実施 ①認定看護管理者教育課程運営委員会設置 ②受講者の募集と受講者決定 ③教育課程の履修・評価・修了認定 ④フォローアップ研修の企画 ⑤ファーストレベル教育実行委員会との連携 ⑥セカンドレベル教育実行委員会との連携 (2)ファーストレベル研修会開催 ①ファーストレベル教育実行委員会による研修の運営・評価と次年度の企画 (3)セカンドレベル研修会開催予定 ①教育機関の認定が通れば9月開催予定 ②セカンドレベル教育実行委員会による研修の企画・運営・評価と次年度の企画 (4)新人指導者研修 ①研修の企画・運営・評価
		VI 社会福祉経済の向上に関する事項	1)看護職の確保定着推進 (1)ワーク・ライフ・バランスの推進 ①看護職が働き続けられる職場作りに関する情報提供 ナースセンター事業や看護職能委員会との協働 ②ワークライフバランス導入施設の紹介 ③「看護職の労働安全衛生」「就業規則」等の指針の普及 ④EPAに関する情報収集と情報提供・導入施設の紹介 2)看護職のたばこ対策推進 (1)禁煙支援リーダーの活動への支援 ①禁煙支援リーダーの活動状況の把握 ②禁煙対策推進施設の紹介 ③関連団体との協働と連携
VII 看護制度問題に関する事項	1)准看護師問題への対応 (1)准看護師から看護師への移行促進 ①看護師養成二年課程入学支援・進学に関する相談への対応・受験のための支援 ②進学支援のための情報提供 ③准看護師研修会交流会開催 2)看護基礎教育の検討に関する対応 (1)看護基礎教育制度の改革と卒後臨床研修制度創設についての検討 ①厚労省等での検討会報告書等の情報提供 ②日本看護協会の方針に基づき連携する		
VIII 啓発に関する事項	1)社会へ看護について啓発 (1)看護協会活動の広報 ①「看護の日」のPR ②「1日まちの保健室」地区支部で開催 ③関係他団体への後援、協賛依頼への協力		
IX 関連する事項	1)看護関連政策の実現 (1)看護政策に関する検討 ①看護連盟との連携 ②保健医療福祉制度の動向の情報提供 ③看護関連政策の提言		
X 在宅に関する事項	1)在宅看護の推進 (1)在宅看護サービスの質向上と人材育成 ①在宅推進委員会とナースセンター事業との連携 ②訪問看護推進協議会との連携 ③訪問看護・施設看護職の交流研修への協力		
XI 連携・協働	1)渉外活動 (1)県や市・県病院協会・県医師会・郡や市医師会他との連携強化 ①関係機関の委員及び協議会等への参画 ②後援・協賛依頼への協力 (2)コ・メディカル団体との協働と連携 ①関係機関の委員及び協議会への参画 ②後援・協賛依頼への協力		

## 第五号議案

# 平成21年度一般会計収支予算書(案)

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

△印は前年度予算より減(単位 円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
1) 特定資産運用収入	30,000	30,000	0	
(1) 特定資産利息収入	30,000	30,000	0	特定預金利息
2) 会費収入	56,000,000	58,000,000	△2,000,000	
(1) 会費収入	56,000,000	58,000,000	△2,000,000	見込会員数5,600人×10,000円
3) 入会金収入	5,800,000	6,000,000	△200,000	
(1) 入会金収入	5,800,000	6,000,000	△200,000	新規入会者・再加入者580人×10,000円
4) 事業収入	23,481,000	20,706,000	2,775,000	
(1) 受講料等収入	21,969,000	18,926,000	3,043,000	1. 会員研修 29コース 8,695,000 2. 看護研究会 1,350,000 3. 認定看護管理者(カ)研修 6,170,000 4. 認定看護管理者(他カ)研修 5,054,000 5. 准看護師研修 300,000 6. 衛星通信研修 400,000
(2) 会館賃借料収入	312,000	300,000	12,000	看護連盟室料 他
(3) 福祉年金事務費収入	360,000	480,000	△120,000	
(4) 手数料収入	840,000	1,000,000	△160,000	
5) 補助金等収入	21,510,000	19,765,000	1,745,000	
(1) 日本看護協会助成金収入	8,109,000	8,640,000	△531,000	1. 協会運営助成 500,000 2. 看護の日週間行事助成 100,000 3. 会員教育助成 1,234,000 4. 会員登録事務補助 275,000 5. 会員教育専任者雇上助成 3,000,000 6. 訪問看護教育専任者雇上助成 3,000,000 7. 看護師研修等事業申請助成 0
(2) 団体助成金収入	300,000	100,000	200,000	1. 県病院協会助成金収入 100,000 2. まちの保健室助成金収入 200,000
(3) 県ナースセンター委託費収入	9,425,000	9,425,000	0	0 県医療課委託費
(4) 実習指導者講習会委託事業費収入	2,731,000	0	2,731,000	県医療課委託費
(5) 推進員養成研修委託事業費収入	945,000	900,000	45,000	県長寿社会推進課委託費
(6) 新カリキュラム編成指導者研修収入	0	700,000	△700,000	県医療課委託費
6) 寄付金収入	10,000	0	10,000	
7) 雑収入	1,340,000	410,000	930,000	
(1) 受取利息	10,000	10,000	0	預金利息
(2) その他の雑収入	1,330,000	400,000	930,000	1. 資料代 1,200,000 2. その他 130,000
<b>事業活動収入計</b>	<b>108,171,000</b>	<b>104,911,000</b>	<b>3,260,000</b>	
2. 事業活動支出				
1) 事業費支出	55,653,000	53,144,000	2,509,000	
(1) 人件費支出	11,200,000	11,550,000	△350,000	
① 給料手当支出	9,900,000	9,900,000	0	
② 賞金支出	300,000	300,000	0	
③ 福利厚生費支出	1,000,000	1,350,000	△350,000	社会保険料 他
(2) 会議費支出	8,160,000	7,660,000	500,000	
① 日本看護協会総会参加費支出	300,000	300,000	0	
② 日本看護協会法学会職員協議会	300,000	0	300,000	地区別法学会職員協議会委員会議費
③ 代議員会費支出	100,000	100,000	0	
④ 総会費支出	1,450,000	1,450,000	0	
⑤ 職能集會費支出	500,000	500,000	0	1. 保健師職能集會費 150,000 2. 助産師職能集會費 150,000 3. 看護師職能集會費 200,000
⑥ 理事会費支出	630,000	630,000	0	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
⑦合同運営会議費支出	300,000	350,000	△ 50,000	1. 合同運営会議費 150,000 2. 地区別施設代表者会費 150,000
⑧職能委員会費支出	1,300,000	1,300,000	0	1. 保健師職能委員会費 400,000 2. 助産師職能委員会費 400,000 3. 看護師職能委員会費 500,000
⑨常任委員会費支出	1,530,000	1,530,000	0	1. 社会経済福祉委員会費 200,000 2. 教育委員会費 500,000 3. 広報委員会費 200,000 4. 準備委員会費 80,000 5. 推薦委員会費 150,000 6. 業務委員会費 200,000 7. 看護研究学会委員会費 200,000
⑩特別委員会費支出	1,750,000	1,500,000	250,000	1. 認定看護師助産師看護師助産師 200,000 2. ナースVP 教育実行委員会費 200,000 3. 他VP 教育実行委員会費 200,000 4. 在宅看護推進委員会費 150,000 5. 准看護師委員会費 200,000 6. 看護研修推進委員会費 150,000 7. まちの保健室運営委員会費 200,000 8. 他VP 事業運営委員会費 150,000 9. 医療安全対策委員会費 150,000 10. 災害看護対策委員会費 150,000
(3) 需用費支出	3,600,000	3,100,000	500,000	
①旅費交通費支出	800,000	800,000	0	
②通信運搬費支出	1,200,000	1,200,000	0	
③印刷製本費支出	800,000	800,000	0	コピー料 他
④調査研究費支出	300,000	300,000	0	
⑤図書整備費支出	500,000	0	500,000	図書整理人件費 他
(4) 会員厚生費支出	411,000	411,000	0	0 会員福利厚生費・会務傷害保険料
(5) 教育費支出	12,500,000	13,200,000	△ 700,000	
①会員研修費支出	4,200,000	7,000,000	△ 2,800,000	
②認定看護管理者研修費支出	6,300,000	3,800,000	2,500,000	ファーストレベル研修費 3,100,000 セカンドレベル研修費 3,200,000
③准看護師研修費支出	500,000	500,000	0	
④看護研究学会費支出	1,500,000	1,500,000	0	
⑤職能合同研修費支出	0	400,000	△ 400,000	組織強化費へ移行
(6) 他VP 事業費運営費支出	400,000	400,000	0	研修費 他
(7) 「まちの保健室」運営費支出	600,000	600,000	0	まちの保健室開催費
(8) 広報活動費支出	2,000,000	2,000,000	0	
(9) 組織強化費支出	2,526,000	2,198,000	328,000	1. 広報費 1,700,000 2. 啓発費 300,000 1. 地区支部助成費 1,626,000 2. 新入会員リエゾン 300,000 3. 施設代表者会 300,000 4. 職能合同研修費 300,000 5. 地区別情報提供費 0
(10) 看護支援対策事業費支出	1,200,000	1,000,000	200,000	
①災害看護支援対策費支出	600,000	1,000,000	△ 400,000	災害時の支援・研修
②医療安全対策費支出	600,000	0	600,000	医療安全研修
(11) ナースVP委託事業費支出	9,425,000	9,425,000	0	0 県医務課委託費 1. 再就業促進事業費 2,180,000 2. ふれあい看護体験費 134,000 3. 訪問看護推進事業費 1,783,000 4. 需用費 0 5. 人件費 5,328,000
(12) 実習指導者講習会委託費支出	2,731,000	0	2,731,000	県医務課委託費
(13) 推進員養成研修委託費支出	945,000	900,000	45,000	県長寿社会推進課委託費
(14) 新カリキュラム施設指導者研修費支出	0	700,000	△ 700,000	県医務課委託費
(15) 寄付金支出	10,000	0	10,000	積立預金
2) 管理費支出	61,470,000	58,216,000	3,254,000	
(1) 人件費支出	34,479,000	31,563,000	2,916,000	
①役員報酬支出	13,500,000	10,450,000	3,050,000	
②給料手当支出	16,800,000	16,800,000	0	
③賃金支出	100,000	100,000	0	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
④退職金給付支出	1,079,000	1,213,000	△ 134,000	
⑤福利厚生費支出	3,000,000	3,000,000	0	0 社会保険料 他
(2) 需用費支出	20,636,000	20,806,000	△ 170,000	
①会議費支出	300,000	300,000	0	
②渉外費支出	600,000	312,000	288,000	
③旅費交通費支出	500,000	500,000	0	
④通信運搬費支出	500,000	500,000	0	
⑤賃借料支出	1,756,000	1,756,000	0	0 システム機器等リース料 他
⑥借上物件賃借料支出	6,430,000	7,300,000	△ 870,000	0 駐車場借上費 他
⑦消耗什器備品費支出	1,000,000	1,000,000	0	
⑧消耗品費支出	600,000	600,000	0	0 事務用品・消耗品 他
⑨印刷製本費支出	1,500,000	1,500,000	0	0 北ノ料 他
⑩光熱水料費支出	1,750,000	1,750,000	0	0 電気・ガス・水道・空調機保守点検料
⑪諸謝金支出	1,000,000	788,000	212,000	0 税理士報酬 他
⑫租税公課支出	3,500,000	3,500,000	0	0 固定資産税・法人税・消費税 他
⑬災害保険料支出	400,000	400,000	0	0 建物・備品火災保険料
⑭雑支出	800,000	600,000	200,000	
(3) 情報処理費支出	2,000,000	2,000,000	0	0 ホームページ保守・回線使用料 他
(4) 営繕費支出	2,000,000	1,500,000	500,000	
①修繕費支出	1,000,000	790,000	210,000	
②保守料支出	1,000,000	710,000	290,000	0 会館機器 他
(5) 会館委託費支出	2,355,000	2,347,000	8,000	1. 警備委託料 450,000 2. マット取替 90,000 3. 電気工作物点検 150,000 4. 浄化槽維持管理 430,000 5. 自動扉保守点検 85,000 6. 防火設備保守点検 100,000 7. 館内清掃 1,050,000
<b>事業活動支出計</b>	<b>117,178,000</b>	<b>111,360,000</b>	<b>5,818,000</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 9,007,000</b>	<b>△ 6,449,000</b>	<b>△ 2,558,000</b>	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入				
1) 特定資金取崩収入	5,079,000	7,213,000	△ 2,134,000	
(1) 退職給付引当資産取崩収入	1,079,000	1,213,000	△ 134,000	
(2) 施設整備積立引当資産取崩収入	4,000,000	6,000,000	△ 2,000,000	
<b>投資活動収入計</b>	<b>5,079,000</b>	<b>7,213,000</b>	<b>△ 2,134,000</b>	
2. 投資活動支出				
1) 特定資産支出	20,660,000	18,813,000	1,847,000	
(1) 退職給付引当資産支出	1,079,000	1,213,000	△ 134,000	
(2) 減価償却引当資産支出	2,581,000	0	2,581,000	
(3) 施設整備積立引当資産支出	17,000,000	17,600,000	△ 600,000	
2) 固定資産取得支出	1,000,000	1,000,000	0	
(1) 什器備品等購入支出	1,000,000	1,000,000	0	
<b>投資活動支出計</b>	<b>21,660,000</b>	<b>19,813,000</b>	<b>1,847,000</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>△ 16,581,000</b>	<b>△ 12,600,000</b>	<b>△ 3,981,000</b>	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入	0	0	0	
<b>財務活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
2. 財務活動支出				
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>IV 予備費支出</b>	<b>3,000,000</b>	<b>2,000,000</b>	<b>1,000,000</b>	
<b>当期収支差額</b>	<b>△ 28,588,000</b>	<b>△ 21,049,000</b>	<b>△ 7,539,000</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>41,192,000</b>	<b>40,584,000</b>	<b>608,000</b>	千円未満切捨
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>12,604,000</b>	<b>19,535,000</b>	<b>△ 6,931,000</b>	

(注) 1. 借入金限度額 0円  
2. 債務負担金 0円

看護研修センターの土地取得と建設計画についての報告（案）  
並びに新看護研修センター建設資金準備積立金について（案）

1. 看護研修センターの土地取得と建設計画についての報告（案）

平成20年度通常総会において、看護研修センターの土地取得と建設計画については、第七号議案により承認され、平成21年度からの執行に向けて、下記のとおり、理事会や看護研修センター建設推進委員会において現地の確認や再三にわたる検討を重ねてきました。

しかしながら、平成21年3月31日付け、和看協発第547号でお知らせしたとおり、購入予定地である海南市北赤坂台における諸問題や、百年に一度という未曾有の大不況及び会員的大幅な減少により計画どおりの預託金の確保について、困難な見通しになってきたこと等により、購入予定地の土地取得並びに会員からの預託金による資金確保の執行について、実施しないこととしますので報告します。

記

- 第2回 看護研修センター建設推進委員会  
平成20年7月2日（水） 13:30～16:00  
【協議事項】  
・第一期預託金の依頼について  
・寄付金について  
・看護研修センター建設推進委員会の組織について  
※ 平成20年7月22日（火）の臨時理事会に合同会議として出席した。  
※ 購入予定地（海南市北赤坂台）の現地及びトランスコスモス施設（海南市南赤坂台）を平成20年8月6日（金）の理事会に出席の理事全員と合同で見学（15:00～17:00）
- 第3回 看護研修センター建設推進委員会  
平成20年9月19日（金） 13:30～16:30  
【協議事項】  
・ワーキンググループの組織・運営について  
・看護研修センター建設推進委員会及びワーキンググループの規約等について  
・前回理事会で見学した購入予定地（海南市北赤坂台）についての意見交換  
・トランスコスモス施設（海南市南赤坂台）とのメリット、デメリットについての意見交換
- 第4回 看護研修センター建設推進委員会  
平成20年12月3日（水） 13:30～17:00  
【協議事項】  
・新看護研修センター建設にかかる課題協議について  
1) 購入予定地（海南市北赤坂台）及びトランスコスモス施設（海南市南赤坂台）について  
2) ワーキンググループの今後の運営について  
※ 平成21年1月23日（金）の臨時理事会に合同会議として出席した。
- 第5回 看護研修センター建設推進委員会  
平成21年3月30日（月） 13:30～17:00  
【協議事項】  
・新看護研修センター建設にかかる課題協議について  
1) 第6回理事会における協議の結果における今後の取扱い

について

① 会員への報告（通知）について② 見直し案について

- 第3回 理事会 平成20年7月4日（金） 10:00～12:30  
【協議事項】  
・第一期預託金について施設会員及び個人会員への依頼及び預託金の取扱いについて  
・寄付金についての検討  
・部会、ワーキンググループについて  
運営部会 資金調達部会 建設設計部会 広報部会等  
・今後の課題について
- 臨時理事会並びに看護研修センター建設推進委員会合同会議  
平成20年7月22日（火） 13:30～15:00  
【協議事項】  
・看護研修センターの土地確保と建築について  
・第一期預託金納入に関して  
・ワーキンググループについて
- 第4回 理事会 平成20年8月6日（金） 13:30～17:00  
【協議事項】  
・看護研修センターの土地確保と建築について  
・ワーキンググループについて  
※ 購入予定地（海南市北赤坂台）の現地及びトランスコスモス施設（海南市南赤坂台）を出席理事全員で見学（15:00～17:00）
- 第5回 理事会 平成20年11月5日（金） 13:30～16:00  
【協議事項】  
・看護研修センターの土地確保と建築について  
1) 現時点の状況と委員会における会議報告  
2) 理念・規約等について  
① 看護研修センター建設推進委員会内規（案）について  
② ワーキンググループ規約（案）について  
③ 和歌山県看護協会の基本理念・新看護研修センターのコンセプト（案）について
- 臨時理事会並びに看護研修センター建設推進委員会合同会議  
平成21年1月23日（金） 13:30～15:00  
【協議事項】  
・看護研修センター建設推進にかかる経過状況について  
1) 前回理事会（11月5日）以降における経過状況について  
2) 平成20年度通常総会での承認事項の確認  
3) 会員数の現況と21年度会員数の予測
- 第6回 理事会 平成21年3月25日（水） 13:30～16:00  
【協議事項】  
・看護研修センターの土地確保と建築について  
1) 平成20年度1年間検討した事項と状況変化における困難な見通しとなったことについて、①購入予定地（海南市北赤坂台）の土地取得を見直すこと及び②預託金による資金確保を見直し、将来に向けて積立金を実施していくことが望ましいとの結論となった。

## 2. 新看護研修センター建設資金準備積立金について (案)

新看護研修センター建設資金準備積立金を年額三千円とし、平成 22 年度から施行する。

(趣旨)

現在の研修センターは、昭和 60 年の竣工で、当初の会員数は 2,927 名、23 年が経過した平成 20 年度の会員数は

5,505 名と、約倍増しております。

多様化する看護ニーズに対応し、社会的役割を果たすためには、看護職の資質の向上に向けて各種研修事業の充実は必須であります。また、平成 21 年度からは従来の研修事業に加えて、認定看護管理者制度セカンドレベル教育の開講も予定しております。

以上のことから、新看護研修センターの建設実現に向けて、資金の積立てを行い建設に備えます。

# 職 能 委 員 会 報 告

## 保健師職能委員会

委員長 西岡 倫代

《活動目標》 保健師の専門性を発揮していきいきと活動する

《活動内容》

●回数 職能委員会 (年 6 回開催)

●職能集会

テーマ：保健師の専門性を活かした特定健診・特定保健指導

講 演：「行動変容につながる保健指導」

～生活習慣病予防活動支援モデル事業・保健師への提言～

日本看護協会常任理事 井伊久美子氏

●三職能合同研修会

テーマ：災害時における看護職の役割と連携

講 演：「災害看護への取り組み」

日本看護協会常任理事 井伊久美子先生

「災害時看護の実践」

日本赤十字社和歌山医療センター 高岸壽美氏

「災害時の保健活動」

和歌山県庁健康局医務課 電田登代美氏

パネルディスカッション

「災害時における看護職の役割と連携」

●保健指導ミーティング(近畿地区 2 府 4 県合同) 開催

講 演：「保健師が行う保健指導の質の向上のために」

白鳳大学短期大学地域看護学専攻 准教授 清水多實子氏

シンポジウム 「保健指導のあり方を考える」

シンポジスト

「保健師がめざす保健指導とは」

～滋賀県守山市における特定保健指導の実態から

守山市健康福祉センター 主幹 澤 慰子保健師

「自らの生活習慣につなげるためのしくみとグループトーク」

～日本看護協会グループ支援モデルを活用して～

東大阪市中保健センター 主査 今中恵子保健師

「グループ支援モデル実践事例から」

～習慣を変える(実態に気づく)支援について考える～

兵庫県洲本市保健センター 北岡公美保健師

コーディネーター

和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 山田和子

●災害時保健活動体制に関する実態調査アンケート検討

《今後の課題》

・保健師の専門性を発揮するための活動基盤における課題整理

・会員増に関する対策の検討

## 助産師職能委員会

委員長 芝 佳子

《活動目標》 1) 助産師の質向上を図り、自立した働き方のための必要な体制の指標作成し支援を行なう  
2) 妊娠褥婦や新生児への安全と支援をおこなえるようにする  
3) 県看護協会・三職能・助産師会・各委員会との連携をはかる

《活動内容》

●回数 委員会 9 回 三職合同 1 回

① 災害看護

・県への妊娠褥婦災害時に関する質問を実施できた→回答待ち

・携帯版「妊産婦必要物品」のリスト作成に向けて内容検討

・妊産褥婦、乳幼児への防災対策の特性と必要性についての冊子作成検討

② 院内助産\*助産師外来

・助産外来の普及について一施設で実行中

③ 思春期保健指導

・中学生対象の思春期保健指導の実施：御坊市役所(御坊中対象)

④ まちの保健室

・ハンドマッサージはコミュニケーションの手段として好評であった

・妊婦相談、乳幼児～更年期相談など助産師の専門性が発揮できた

《今後の課題》

①について ・災害時母子用マニュアルの作成

(母子健康手帳にはさめるサイズの冊子)

②について ・助産外来計画中の施設の現状を把握し問題点を探る

③について ・小学生対象の思春期出前教室の実施

④について ・助産師会とも連携し、「助産師ブース」をアピールする

・乳がん検診についてのパンフレット作成し検診の啓蒙活動

## 看護師職能委員会

委員長 峰 平 一二美

《活動目標》

・安全な看護の提供を目指して、専門職としての能力開発を促進することができる

・三職能の連携をはかることができる

・地区支部や各委員会との効果的な連携を図ることができる

・准看護師の質の向上と移行に向けての支援を行う

・会員数 5,850 人を目指し、組織を強化することができる

・離職防止に関する働きかけができる

《活動内容》

●回数 委員会 10 回

1. 「やさしい倫理だより」 第 3・4・5 号を編集し、黒潮と共に配布した。

2. 平成 20 年 9 月 6 日(土)に看護師職能集会・三職能合同研修会を開催した。職能集会の参加者は 187 名で、参加者の 96%が「研修のあり方が良い」、92%が「講演の内容が良かった」と答えており研修効果はあったと評価する。

1) 看護師職能集会

テーマ：～看護師がいきいきと働きつづけられる職場づくり～

・平成 19 年度子育て支援実態調査の結果報告

・講演 滋賀医科大学医学部付属病院 看護副部長 餅田敬司

「看護師がいきいきと働きつづけられる職場づくり」

2) 三職能合同研修会

テーマ：～災害対策における看護職の役割と連携～

・日本看護協会の立場から 「災害看護への取り組み」

講師：日本看護協会 常任理事 井伊久子

・保健師の立場から 「災害時の看護職の役割と課題」

講師：和歌山県福祉保健部健康局医務課看護班 主査 電田登代美氏

・臨床の立場から 「災害時看護の実践」

講師：日本赤十字社和歌山医療センター 看護副部長 高岸壽美

3. 職場サポートブックの活用の実態調査の実施と集計。

《今後の課題》

新卒看護師のリアリティショックや中堅看護師が疲弊して離職につながるという問題がある。いきいきと働き続けられる職場づくりは、看護現場にとって重大な課題である。次年度は、看護職の職場定着における問題の実態を把握し、三職能が取り組まなければならない課題を明らかにしたい。次年度の三職能合同研修のテーマを「看護職の職場定着」とする予定である。また、今年度は看護協会会員数が減少しており、組織の強化のために会員を増やさなければならない。看護師職能委員会として協会事業に協力し、地区支部との連携・会員増加への働きかけを行ってゆく。

# 常任委員会報告

## 社会経済福祉委員会

委員長 吉村 いさ子

《活動目標》

職場定着と離職防止について現在の職場状況から問題を分析し職場環境を整える条件について考える。

《活動内容》

●回数 委員会開催数 8 回

- 和歌山県下における看護職に対し働き続けられる職場づくりを目指すために H20 年 10 月に和歌山県下 48 病院 1000 名にアンケート調査をして実態調査を行った。(有効回答率 93.8%)
- 雇用形態は 95.1% 890 人が正職員であった。
- 短時間正社員雇用制度を利用すると答えた人は 42% 389 人であった。
- 日勤専従勤務は 406 人 夜勤専従勤務は 218 人いるとの回答が得られた。
- 年齢層は 20 歳代 25.4% 238 人 30 歳代 31.4% 299 人 40 歳代 29.8% 279 人 50 歳代 11.5% 108 人 60 歳代 1.0% 9 人であった。
- 介護をする人は 14.2% 133 人が有 893 人が無と回答した。
- 介護休暇は 56.6% が有と答えたが実際に取った人は 2.4% 22 人であった。

- 有給休暇は 80% 752 人が取れると答え一年間に平均 26 日あるうち 9 日を消化していた。
- 働き続けるために必要なことは(複数回答)
  - 1 位、職場の人間関係が良い 605 人
  - 2 位、家族の協力がある 312 人
  - 3 位、自分や家族が健康である 290 人
  - 4 位、休暇が取得できる 281 人
  - 5 位、超過勤務が少なく、時間内に業務が終了できる 253 人であった
- 職場定着を阻害する要因となるストレスは
  - 1 位、責任の重さ、医療事故への不安 402 人
  - 2 位、仕事量の多さ 253 人
  - 3 位、職場の人間関係 248 人であった

《今後の課題》

多様な勤務形態の導入などを含めた勤務体制、職場環境の改善また管理者の意識と取り組みが期待される

## 教育委員会

委員長 岡本 知子

《活動目標》

会員の看護専門職としての知識・技術を深め、看護実践能力の向上を図るため、会員教育の企画・運営を行うことができる。

《活動内容》

●回数 研修 28 コース 39 日 会議 7 回

- 平成 20 年度教育計画の運営
- 会員研修プログラムを「新人研修」「看護共通研修」「看護管理」「専門領域」の 4 つのカテゴリーで実施
- 衛星通信研修を 7 コース実施
- 診療報酬改定を受け「糖尿病重症化予防に係る研修会」を 3 回シリーズで実施

・「新人教育担当者研修会」を実施

- 平成 21 年度教育計画立案
- 各研修会で得たアンケート結果・各地区支部からの要望及び会議での評価をもとに立案

《今後の課題》

- ・欠席・無断欠席・遅刻・無断早退への対処と啓発
- ・各研修会のねらい・内容を受講者へ周知
- ・社会情勢や各種ニーズを捉え日本看護協会と足並みをそろえ、より有意義な会員研修を実施

## 広報委員会

委員長 谷坂 次郎

《活動目標》

和歌山県看護協会の動向・タイムリーな情報・最新の情報の提供。読者参加型の紙面作り。

《活動内容》

●回数 8 回

1. 和歌山県看護協会会報「黒潮」(第 104 号～107 号)の発行。
2. 県看護協会の動向を掲載し、各職能委員会からのコーナー・看護協会委員会のコーナーを継続。新しく、看護研修センター建設推進委

員会のコーナーを設け会員の皆様に経過報告の場とした。

3. 「My Hospital」「リレーエッセイ 友達の輪」「私の○○」などのコーナーを継続し、読者参加型の紙面作りに努めた。「トピックス」のコーナーでは、認定看護師による最新の情報を会員の皆様に提供できるよう努めた。また、「My School」のコーナーを新設した。

《今後の課題》

会員の皆様に、より興味を持って頂ける紙面作り。

## 準備委員会

委員長 岩本 昇

《活動目標》

円滑な総会運営に向けて準備・調整

《活動内容》

●回数 3 回

1. 平成 20 年度和歌山県看護協会通常総会は、平成 20 年 6 月 7 日に開催、無事に総会を終了。
2.
  - ① 20 年度総会の反省点の検討

- ② 準備委員による役割分担の検討
- ③ 事務局との役割の再確認(明確化)
- ④ 会場内における誘導案内の人員配置、再検討
- ⑤ 受付業務の明確化及び再検討
- ⑥ 21 年度総会の役割分担の決定

《今後の課題》

① 21 年度総会に向けて、理事・常任委員・特別委員・各会員との協力

## 推薦委員会

委員長 平井 安子

《活動目標》

活力ある組織体制作りを目指して、開かれた推薦を行う。

《活動内容》

●委員会開催 4 回

- ・推薦委員会 内規を作成
- ・平成 21 年度改選役員、委員、平成 22 年度代議員を下記のとおり推薦いたしました。
- ・第一副会長 古川 紀子
- ・理事(書記長) 小田垣 弥智世
- ・助産師職能委員長 芝 佳子
- ・看護師職能委員長 峰 平 一二美
- ・地区理事(支部長兼任)
  - 和歌山地区 澤 田 康 幸
  - 海南・海草地区 楠 本 好 子
  - 新宮・串本地区 浦 上 眞千代
- ・監 事 林 敬 子

・保健師職能委員

・助産師職能委員

・看護師職能委員

・推薦委員

- ◎平成 22 年度代議員推薦者(役員・8 地区支部)
- ・会 長 木 村 佐多子
- ・第一副会長 古 川 紀 子

- 総 村 まゆみ
- 坂 部 美 紀
- 西 村 尚 美
- 秦 野 美智代
- 滝 口 ひとみ
- 寺 本 裕 水
- 中 村 麻 耶
- 小 川 敦 代
- 柏 山 敦 子
- 恋 中 理 恵
- 嶋 田 泰 典
- 嶋 田 左知代
- 津 本 美 鈴
- 森 田 み や

- ・第二副会長
- ・常任理事
- ・書 記 長
- ・保健師職能委員長
- ・助産師職能委員長
- ・看護師職能委員長
- ・全区理事
- ・伊都地区
- (補欠)
- ・那賀地区
- (補欠)
- ・和歌山地区

- 高 岸 壽 美
- 葛 葉 まさ彖
- 小田垣 弥智世
- 西 岡 倫 代
- 芝 佳 子
- 峰 平 一二美
- 宮 井 千佳代
- 弓 庭 喜美子
- 岩 崎 留 美子
- (補欠) 山 口 裕 子
- 古 谷 奏 美
- 木 村 晴 美
- ・和歌山地区 塩 市 野 浩 美
- 東 田 裕 子
- 的 場 眞利子
- 吉 田 智 葉
- 木 村 智 葉

(補欠) 土井志保 ・海南・海草地区 (補欠) 楠本好子 ・有田地区 西山下美幸 中島弘夫 和	(補欠) 向井仁美 坂本光代 (補欠) 山崎晶子 高田雅美 (補欠) 桑原千恵	・新宮・串本地区 浦上眞千代 (補欠) 野田由美
---	---	--------------------------------

《今後の課題》  
理事会が行う役員の推薦と推薦委員が行う推薦について密接に連携をとりながら進める。

## 業務委員会

## 委員長 津山美香

### 《活動目標》

和歌山県下の医療機関における感染管理に対する実態を調査し、把握する。看護業務基準の活用を推奨する。

### 《活動内容》

#### ●回数 8回

7月4日の理事・常任委員長、特別委員長合同会議で諮問された、看護業務拡大に伴う看護現場の状況把握に関すること・看護業務基準の普及に関することへの取り組みとして、医療現場における感染管理を効果的に行い、医療の質を保証するための活動状況の実態について調査した。看護の安全性が問われる昨今、各施設内での感染管理の実

態を把握するために、和歌山県看護協会に所属している病院・施設で会員数の多い順 100 施設を対象にアンケート調査を行った。

アンケートの結果から看護業務基準や CDC ガイドラインに沿った感染管理が実施されていない実態が把握できた。施設規模でみると、これらに関して大差はなかった。

この結果を施設にフィードバックすることで、感染管理の標準化を期待する。

### 《今後の課題》

アンケート結果から日本看護協会出版の看護業務基準集や、CDC ガイドラインなどに沿った看護業務が実践できるよう、感染管理に対する看護師の知識の向上が必要となる。今後、研修会の開催に向けて考えていきたい。

## 看護研究学会委員会

## 委員長 楠岡 誠

### 《活動目標》

和歌山県看護研究学会が活発で円滑に実施運営出来る。

### 《活動内容》

平成 20 年度和歌山県看護研究学会にむけて、準備委員会を木村看護協会会長と委員 6 名の構成で、学会企画および準備、運営を目的に、平成 20 年 5 月 9 日より平成 21 年 2 月 10 日まで、計 11 回の委員会を開催した。

#### 1) 審議内容

- ① 学会目標、テーマおよび日程の検討
- ② 特別講演の講師選定
- ③ チラシの作成
- ④ 抄録応募方法および参加募集方法の検討
- ⑤ 査読依頼および選考判定用紙の検討
- ⑥ 抄録の選考とプログラムの作成、座長選出
- ⑦ 学会協力要員の依頼と役割内容の検討
- ⑧ 学会当日の運営内容の検討と運営のしおり作成
- ⑨ 学会会場の設営準備

### ○学会報告

平成 21 年 2 月 7 日に「チーム医療再発見」のテーマで、和歌山県民文化会館にて和歌山県看護研究学会を開催した。参加者は 257 名で「病棟から始める退院支援 安心できる在宅療養を目指すための看護師の役割」のテーマで京都大学医学部附属病院 地域ネットワーク医療部退院調整看護師 宇都宮広子先生による講演、「緩和ケア領域におけるチーム医療の重要性」のテーマで藤田保健衛生大学 外科 緩和医療学 准教授 伊藤彰博先生による講演が行われた。

一般演題は 23 題（口演 14 題、示説 9 題）の発表があった。学会終了後のアンケートでは、他職種間の連携の重要性を再認識した。退院支援の大切さ、早期介入の必要等理解できた。NST の役割、チーム医療の重要性がよくわかった等の意見が聞かれ、参加者がより一層看護に対する知見を得たと思われる。

### 《今後の課題》

昨年度より参加者が減少し応募演題数も減少した。来年度はたくさんの参加者と、演題数の増加に向けた広報活動を強化し、もっと充実した看護研究発表会にしていきたい。

# 特別委員会報告

## 認定看護管理者教育ファーストレベル運営委員会

## 委員長 上田 稚代子

### 《活動目標》

本研修は、個々の看護職員的能力を生かしながら、適切かつ効果的に看護サービスを提供するようマネジメントし、リーダーシップを発揮できるように看護管理者の基盤となる能力を身につけることをねらいとしている。さらにファーストレベル研修終了者を対象にしたフォローアップ研修では、看護管理の基礎的知識を再度学習することで、現在の自己の役割を再認識できることをねらいとしている。運営委員会では、教育課程に基づく各教科目の研修を円滑に開催できるように研修内容の企画・運営や講師の選定などを検討し、上記の研修のねらいを達成できることを活動目標においている。

### 《活動内容》

#### ●回数 運営委員会を 5 回開催した

1. 平成 20 年度認定看護管理者（ファーストレベル）教育課程の実施・評価について
  - ・認定看護管理者（ファーストレベル）の教育目的を達成するために、開講式を含め 22 日間の日程で 6 科目 14 名の講師により実施した。（総会要綱資料 1 参照）
  - ・研修の評価は、受講生 45 名を対象に講義終了後にアンケート調査を実施した。（総会要綱資料 2 参照）その結果は、平成 19 年度同様に高い評価を得ることができた。このことは、研修内容の企画や講師

の選定が研修目的に沿った結果と考える。

2. 平成 20 年度認定看護管理者ファーストレベル修了者へのフォローアップ研修の実施・評価について
  - ・今年度は看護専門職論の一部の講義をフォローアップ研修とし、2 日間の日程で 1 科目、1 名の講師により実施した。
  - ・研修の評価は、受講生 17 名を対象に講義終了後にアンケート調査を実施した。（総会要綱資料 3 参照）受講生の研修ニーズが高く、臨床での日々の仕事の中で看護管理の目的・目標や専門職としての自覚・役割など再認識することができ、今後も継続的に学習していきたいという希望が多くあった。これを受けて来年度も継続して実施することを提案した。

### 《今後の課題》

- ・各教科の担当講師の都合により、教育課程の進行状況が前後する場合があります。受講生の学習レディネスが不十分となり講義内容の理解不足が生じることが懸念されるため、各担当講師との日程調整において概論や基礎的な教科を優先させられるようにしていくこと。
- ・講義終了後のアンケート調査内容は、講義内容の理解、実践への活用、モチベーションの高まりの有無について質問しているが、他にランダムに講義の意見を受講生から聞く「その他」の欄を設けて、より研修生による講義評価が反映できる質問紙にしていくこと。

## 在宅看護推進委員会

## 委員長 宮川 啓子

### 《活動目標》

在宅看護推進協議会開催に向けて準備する  
和歌山県での訪問看護の状況把握  
退院調整における看護連携の状況を把握する

### 《活動内容》

#### ●回数 7回

- ・訪問看護推進事業として実施している「病院勤務看護師と訪問看護ステーション勤務看護師の相互実習」の最終日に協力員として参加した。

- ・「第一回訪問看護推進協議会」開催に際し、会長から諮問を受け準備に協力した。会議に参加し、県内の実情を報告した。

### 《今後の課題》

和歌山県内での在宅看護はまだ認知度が低く、勤務する看護師の就業状況も整備が遅れているため、マンパワーの確保が難しい事がわかってきた。社会全体のニーズと看護職の意識のずれを知り、在宅看護を進める上で必要な方法を、具体的に考えることが必要である。

准看護師委員会		委員長 横尾 くみ子
<p>《活動目標》 2年課程通信制の進学に向けての研修</p> <p>《活動内容》 ●回数 7回(研修と委員会を含む 研修5回・委員会6回) ○研修内容 第1回 看護の専門性を目指した自己啓発のあり方を考える(6/13) 保健医療福祉の動向と看護者に求められるもの 第2回 看護過程の考え方とその実際を学ぶ(7/7) 看護過程の考え方/看護過程について事例の展開 看護過程の記録方法 第3回 看護師養成所2年課程通信の進学に向けて準備する(8/11) 21年度入学に関する情報を得る/小論文について 第4回 小論文・レポートの書き方が分かる(9/29) 小論文・レポートの作成について 第5回 推薦入学の準備と小論文の個別指導(第4回受講者対象)(11/1) 推薦入学の準備ができる</p>	<p>○委員会内容(議題) 第1回 准看護師研修会の打ち合わせ(6/13) 第2回 看護通信について(21年度の検討)(8/11) 谷会長からの話・研修内容の検討・准看護師委員会の活動 第3回 会長からの話・医務課看護班(森本氏、亀田氏)の話(10/27) 宮井氏からの話 第4回 アンケート調査の作成・次回研修会内容について検討(11/5) 第5回 准看護研修について・アンケートについて・内規作成(12/8) 第6回 研修会の最終確認・今年度1年間のまとめ(1/19)</p> <p>《今後の課題》 進学支援 非協会員への働きかけ</p>	

看護研修センター建設推進委員会		委員長 湯上 ひとみ
<p>《活動目標》 看護協会の役割やその機能から、今後の将来展望に立った看護研修センター建設推進のため、用地の取得、研修センターの構造・規模及び資金計画が適正に行えるための検討を行う。</p> <p>《活動内容》 5回 和歌山県看護協会の基本理念・新看護研修センターのコンセプト及びその機能や必要な施設整備の確認を行い、新看護研修センター建設の方向で検討を重ね、資金調達の方法についての検討を重ねた。しかし平成21年度の会員の減少や未曾有の経済危機による会員負担の増額が見込まれ、また建設予定としていた土地周辺の環境変化等により、方向転換の必要性が高くなり、既存の施設の借入についても検討を行うことになった。</p> <p>《今後の課題》 会員の費用負担が想定より大きくなり、会員の資質向上のための研修が充実できるように今後の方向を検討する。</p> <p>.....</p> <p>平成20年12月3日(水) 第4回委員会及び平成21年1月23日(金) 臨時理事会との合同会議に出席。</p> <p>《第4回委員会検討内容》 1、海南市北赤坂台の購入予定地及びトランスコスモス(株)の施設について (1) 前回からの経過報告</p>	<p>建設予定地周辺における住宅の増加や隣接する保育園における園児の増加に伴う送迎車両の増加等、環境も変わってきており、当初想定したとおり100台の駐車場を含めた建設が困難な状況となってきた。 また、トランスコスモス株式会社の建物は、トランスコスモス健保組合に売却したことを確認。 再度、トランスコスモス(株)の施設見学と写真撮影。 施設内には、1階と2階に100人程度収容可能な研修室が2室あるが、一部増築も可能。駐車場は芝地を改修すれば100台程度は駐車可能。施設の売却交渉については当然できないが施設の一部貸し出しはできることを確認。</p> <p>(2) 検討事項について トランスコスモス(株)の施設を研修に必要な都度借用し、将来予想される価格で売却してもらえれば、会員負担も少なくなると思われる。 未曾有の経済危機や建設予定の土地周辺の環境変化などにより、予定どおり進めていくのは困難と思われる。変更する場合は、預託金についても見直しなければいけないことになる。 予定の変更をしていくのであれば、早急に検討して方向性を示さなければ会員に迷惑をかけることになる。どのように会員にお知らせしていくか、理事会で検討し総会に提案していく方向で進めていく。</p> <p>2、和歌山県看護協会の基本理念・新看護研修センターのコンセプトについて検討 3、和歌山県看護協会看護研修センター建設推進委員会内規について検討 4、ワーキンググループの規約について検討 5、ワーキンググループの今後の運営について検討</p>	

「まちの保健室」運営委員会		委員長 北本 智恵
<p>《活動目標》 1、「まちの保健室」の定着化と共に、地域住民の健康に対する認識を高める 2、生活習慣の改善のきっかけづくりと、その改善にむけてのサポートが出来る 3、県民の健康レベルのニーズに応じたコンサルテーション機能が発揮できる 4、他の職能委員と連携した活動ができる</p> <p>《活動内容》 ●回数 11回 まちの保健室開催5回 今年度初回は、看護協会駐車場建物内で、以降は「メッサオークワカーデンパーク和歌山」に場所を変え、奇数月の第3土曜日に定例</p>	<p>開催した。広報に地方紙の「ニュース和歌山」や「リビング」への無料掲載と開催場所へのポスター掲示で会場近辺だけでなく遠方からの参加者も増え、回を重ねリピーターの姿も見られる。 内容は各計測の実施と保健師・栄養士による健康相談を行っている。また、助産師職能からは「妊産褥婦の保健指導」や「更年期相談」「ハンドマッサージ」も取り入れ好評を得ている。参加人数は60～100名と増え、年齢も10代～90代と幅広くなっている。</p> <p>《今後の課題》 今後の開催については、今年度同様、セカンドキャリア・助産師職能・ボランティアの方々はもちろんのこと、今後さらに生活習慣病予防のサポートに向けて、保健師職能の協力をお願いしたい。</p>	

セカンドキャリア事業運営委員会		委員長 田村 キク代
<p>《活動目標》 定年退職者や定年を控えた看護職者が、看護の現場で培ってきた豊かな経験や広い知識を生かした活動を継続するために必要な知識を学び、今後の活動方法について支援する。</p> <p>《活動内容》 ●回数 委員会開催6回 登録者の継続意志の再確認を行いその登録者は30名を中心に活動をした。 各月に定期的開催の「まちの保健室」には、都度の募集ではなく、前もって登録者の年間予定を確認し、それに基づいて毎回5～6名の協力員をスムーズに出すことができた。 ○「紙おむつ工場」と「卵建の町並み見学」 超高齢化社会の中で、人間の基本的ニーズである排泄援助の一つの方法として、紙おむつの使用があるが、製造過程や仕組みを学ぶとともにメンバーの情報交換・交流の場として実施。 *日時：平成20年4月26日(土) *場所：徳島県 貞光工場 *参加者33名 *協力：(株)丸和 (株)リブドコーポレーション</p>	<p>○毎日新聞社主催開催で観光や環境、健康をテーマにしたイベント「毎日ウイークイン・和歌山」開催され「健康」に関するテーマで協力。 *日時：平成20年10月19日(日) *場所：和歌山城 砂の丸広場 *参加者：203名 セカンドキャリアメンバー6名とまちの保健室メンバー2名、保健師、栄養士各1名協力の下開催。 ○セカンドキャリア支援研修会開催予定 3月28日(土) 定年退職後や退職を控えたベテランナースが、看護現場で培ってきた豊かな知識技術を生かした活動の継続について考えるところにもお互いの交流の場とする 講演：「これからの人生豊かに生きるために」 講師：惣光寺(真言宗)大僧正 柳瀬昌孝先生 手芸教室：和紙のアトリエ「和風ミ二橋」</p> <p>《今後の課題》 定年退職等退職を控えた看護職者が退職後も、看護現場で培ってきたキャリアを生かし自分のライフスタイルに合った看護活動を継続することができるよう支援するとともに、継続して看護協会への入会を促していくことが必要。</p>	

## 医療安全推進対策委員会

委員長 山口 太津子

### 《活動目標》

1. 医療安全管理者養成研修会の開催
2. 県内医療安全管理者養成研修会修了者の支援およびフォローアップ研修の開催
3. 近畿地区リスクマネージャー交流会への協力
4. 医療安全に関する情報の発信

### 《活動内容》

1. 委員会開催回数 9回
  - 1) 検討内容
    - ・医療安全管理者養成研修会、県内リスクマネージャー交流会・フォローアップ研修会の運営、および研修終了後の評価について検討をおこなった。
    - ・近畿地区リスクマネージャー交流会の事前・事後の検討をおこなった。
    - ・医療安全全国共同行動の円滑な推進にむけての取り組みについての検討をおこなった。
  - 2) 医療安全管理者養成研修会（全5回修了した方に修了証を発行）
    - 「組織内における医療安全管理者としての必要な基本知識・技術を身につける」ことを目的とし、医療現場における安全管理を効果的に、医療の質を保證することができる医療安全管理者を養成するねらいで5日間の研修会を開催した。
    - 受講者39名（修了者38名）であった。研修後のアンケート結果からは、どの研修日も目標はほぼ達成できた、という回答を得ているが、中には、学習内容が多く、許容量を超えていた、という研修日もあり次年度の課題となっている。

3. 県内医療安全管理者養成研修会修了者の支援およびフォローアップ研修については、午前に交流会、午後には演習を含めた研修会として開催した。参加者は33名（37名の申し込み内4名欠席）交流会では、他施設の現状や取り組みをすることができよかった、という声が多く聞かれた。午後は、RCA分析の演習を含めた研修会であった。1日のほとんどがグループワークであったが、受講生からは楽しく勉強できよかったと好評であった。
4. 近畿地区リスクマネージャー交流会への協力
  - 今年度は滋賀県看護協会が担当県として、12月5日に、午前中は近畿6府県看護協会の医療安全にかかわる委員会委員の交流会、午後は公開講座がおこなわれた。和歌山県からは午前5人、午後は13人の参加であった。各府県の委員会の取組みや問題点など情報交換ができ委員会として交流会は有効であった。
5. 医療安全全国共同行動の円滑な推進にむけての取り組みについては、現在のところ和歌山県看護協会のホームページで紹介するにとどまっている。

### 《今後の課題》

1. 医療安全推進対策委員会は、今年度から特別委員会としてたちあげられた。医療安全管理者養成研修会や県内リスクマネージャー交流会・フォローアップ研修会の計画と運営、近畿地区リスクマネージャー交流会への協力（次々年度は和歌山が担当県の予定）は、今後も大きな取組みである。その中で、医療安全管理者養成研修会の参加者数の確保、また、参加者のスキルアップをはかるために県内リスクマネージャー交流会・フォローアップ研修会をどうすすめていくかが今後の課題となっている。

## 災害看護対策委員会

委員長 加納 昭美

### 《活動目標》

1. 和歌山県看護協会での災害看護における研修を企画・実施する。
2. マニュアルの作成・災害支援ナースネットワークシステムを構築する。

### 《活動内容》

- 回数 会議5回（8月6日、10月17日、12月3日、1月16日、3月2日）
- 会議内容
  - ・災害看護対策委員会内規作成
  - ・災害支援マニュアル（案）・災害支援ナースマニュアル（案）作成
  - ・研修内容の検討

### ○研修

「災害看護」	9月9・10日
「災害看護リーダー研修」	2月4・5日
日本看護協会合同災害訓練参加	8月27・28・29日

### 《今後の課題》

- ・災害支援マニュアル・災害支援ナースマニュアル作成
- ・災害看護研修内容の再検討
- ・災害支援ナースの登録方法と管理方法

## 認定看護管理者教育セカンドレベル運営委員会

委員長 小泉 美穂

### 《活動目標》

1. 認定看護管理者制度セカンドレベル教育機関として、日本看護協会に申請できる体制作りと開講に向けて準備する。

### 《活動内容》

- 回数 平成20年8月から平成21年3月末まで、計8回
- 第1回
  - 1) 「日本看護協会認定看護管理者規則および細則」について確認
  - 2) 今後の会議運営について
- 第2回
  - 1) 認定看護管理者セカンドレベルの要望度調査の作成と発送
- 第3回
  - 1) アンケート調査結果の評価。235施設に郵送し、106施設 回収率45%。目的が明確でなかったためか、受講資格者が記載されていない施設と、また次年度開設しても15名の受講希望者しかいないことから、

- 内容を一部変更し対象者の勤務する47施設に再調査を行うことにした。
- 2) 和歌山県看護管理者制度教育課程運営委員会規定および細則についての内容確認
- 3) 認定看護管理者セカンドレベルのカリキュラム検討
- 第4回
  - 1) アンケート集計と結果
    - 回収率86%（37施設）開催は分散型（木・金・土）。開講は9月、閉講は12月。
  - 2) カリキュラムと講師の検討
- 第5回
  - 1) 認定看護管理者制度セカンドレベル教育機関としての申請書を作成。申請前に内容を日本看護協会認定部でチェックしてもらえないか依頼。その結果、12月25日に委員長と委員2名で日本看護協会本部で指導を受けることになった。微調整の指導で申請可能ということであった。

## 〜〜 東洋羽毛のサービス 〜

- リフォーム …… 古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。羽毛は、きれいに洗淨して、新しい生地に詰め替えます。また、使わなくなったダブルを、シングルなどに、作り替える事も出来ます。
- 補修・お直し …… 穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。
- クリーニング …… 大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。
- 特別注文 …… 製造メーカーなので、ご希望のサイズのお布団を作ります



**※お布団の事なら、何でもご相談下さい。**

社団法人 和歌山県看護協会 推薦  
東洋羽毛関西販売(株)

和歌山営業所 〒6408329和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F  
フリーコール 0120-32-7766  
ホームページアドレス http://www.toyoumo.co.jp  
大阪営業所 〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-8-13  
フリーコール 0120-88-2104

# 地区支部報告

## 伊都地区支部

支部長 岩崎留美

### 活動目標

1、地区支部活動を充実する。 2、社会のニーズに応じた質の高い看護を提供する。 3、会員の組織強化

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看護週間行事 「1日まちの保健室」	平成20年5月17日(土) オークワ高野口店	166名	一般	・健康相談(日常生活、食生活指導) ・血圧測定、体脂肪測定、骨密度測定	・骨密度測定は好評であり、また測定結果に応じて生活指導を実施した。
伊都地区支部 通常総会及び研修会	平成20年7月5日(土) 橋本市立産業文化会館	70名	会員	・平成19年度事業報告、決算報告 ・平成20年度事業計画案、予算案 ・研修会「緩和ケアについて考える」 講師 紀和病院 がん看護専門看護師 森田 郁代 先生	
老人看護月間 講演会	平成20年9月20日(土) 紀和病院	61名	会員	・講演「いのちのありがたさ」 ・講師 高野山大学文学部教授 谷川 泰教 先生	
伊都地区支部・ 看護連盟紀北支部 合同研修会	平成20年12月6日(土) 九度山町 ふるさとセンター	40名	会員	・講演「ゆめ病院について」 「地域医療・伊都地区の現状と問題」 ・講師 医療法人 南労会 理事長 松浦 良和 先生	
伊都地区支部 看護研修会	平成21年4月11日(土) 九度山町 ふるさとセンター	62名	会員	・講演「看護師のメンタルヘルス支援」 ～不応への介入から職場復帰の支援まで～ ・講師 和歌山県立医科大学保健看護学部講師 精神看護専門看護師 武用 百子 先生	
伊都地区施設会員 代表者会議	平成21年3月13日(金) 紀和病院	11名	施設会員代表者 役員	・看護研修センターの土地取得と建設計画について ・平成20年度和歌山県看護協会事業経過報告について ・平成21年度和歌山県看護協会事業に向けて	
支部役員会	毎月1回開催(12回) 紀和病院	5名	役員	・各事業についての打合せ	
今後の課題	・関係機関、関係職種との連携をはかることが必要である。				

## 那賀地区支部

支部長 丸山昌子

### 活動目標

・会員数増加に向けて魅力ある研修の開催と活気ある活動を行う

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
地区支部総会	平成20年6月28日(土) 岩出市総合 福祉センター	291名 委任状 (228名)	地区支部 会員	1.平成20年度地区支部総会 2.地区支部研修会 講師:和医大附属病院 11階西病棟主査(看護師)地主幸司 先生 テーマ「呼吸器管理について～急性期・慢性期～」	救急時の対応について、具体的に学ぶことができました。
支部役員会	平成20年9月24日(水) 訪問看護ステーションとみた	3名	地区支部 役員	老人看護月間行事について	
老人看護月間行事 地区支部研修会	平成20年11月15日(土) 岩出市総合 福祉センター	61名	地区支部会員 非会員 介護職員	地区支部研修会 テーマ「リハビリテーション看護」 ～在宅に向けての生活支援と嚥下リハビリのポイント～ 講師:和歌山県作業療法士会 保険部理事 作業療法士 寺本 千秋 先生	死への過程の中で、患者さんや家族の方が生きる意味を見出すことができるケアについて学習させていただきました。実践を交えた講義で非常に解り易かったと好評でした。
支部役員会		3名	地区支部役員	反省会及び看護連盟合同研修会について	
看護連盟紀北支部 看護協会那賀地区 支部合同研修会	平成21年1月31日(土) 岩出市総合 福祉センター	26名	地区支部役員 連盟会員	研修会 テーマ「医療の質と安全」 講師:滋賀医科大学医学部附属病院 餅田 敬司 先生	クリニカルパスの導入や看護過程の中での取り入れ方について学習することができ、とても有意義な研修会となりました。参加者が若干少なく残念でした。
支部役員会		3名	地区支部役員	反省会及び看護連盟合同研修会について	
支部役員会	平成21年2月19日(木) 訪問看護ステーションとみた	2名	地区支部 役員	・「1日まちの保健室」実施について ・平成21年度和歌山県看護協会地区支部総会・研修会について	
第2回施設会員 代表者会議	平成21年3月18日(水) 富田病院	9名	施設会員代表者 役員		
今後の課題	・会員数の減少を最低限に止める				

## 和歌山地区支部

支部長 芝田里花

### 活動目標

・看護協会についての認知度を高め、会員確保に努める ・新研修センター建設にむけた活動を行う

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
地区支部役員会	平成20年4月23日(水) 済生会和歌山病院	8名	役員	通常総会、研修会、1日まちの保健室について検討	
1日まちの保健室	平成20年5月17日(土) わかちか広場	100名 10名	一般参加 役員・協力員	身長・体重・体脂肪・血圧・骨密度測定 講演:「メタボリックシンドロームについて」 「認知症について」、健康相談	
地区支部役員会	平成20年5月28日(水) 済生会和歌山病院	5名	役員	通常総会、研修会について 「まちの保健室」の反省	
地区支部役員会	平成20年6月25日(水) 済生会和歌山病院	6名	役員	通常総会の準備および打合せ 研修会の準備、会計監査	
通常総会 第1回研修会	平成20年7月5日(土) ダイワインターネットホテル 4階 プリエ	13名 3名	会員 新旧役員 協力員	通常総会 研修会:「摂食・嚥下障害看護の基礎知識 ～ベッドサイドでできる誤嚥予防～」 講師:摂食・嚥下障害看護認定看護師 橋本真由美	講演は楽しみながら学ぶことができ、かつ、実践に結びつく内容であり、好評を得た。
地区支部役員会				通常総会の反省	

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
地区支部役員会	平成20年8月27日(水) 済生会和歌山病院	6名	役員	通常総会の反省・老人看護月間行事について 看護協会への要望・ナース章のとりまとめ	
老人看護月間	平成20年9月20日(土) 「わかちが広場」	83名 7名 3名	一般市民 役員 協力員	血圧測定・骨密度測定・体脂肪測定 身長体重測定・血管測定など	測定後の説明・指導も行うことができ好評であった。
地区支部役員会			役員	老人看護月間の反省会	
第2回研修会	平成20年10月18日(土) アパ(ローム紀の国)	120名 7名	役員 会員	第2回研修会 「認知症を知ると看護は楽しいよ」 講師：室 みち子 先生	日頃、看護するなかでの悩みの解消となった、 などの感想が多く好評であった。
地区支部役員会	平成20年11月26日(水)	6名	役員	第2回研修会の評価 次年度の事業計画	地区支部事業計画に沿って円滑に事業を進め られるよう協議・検討をおこなった。
地区支部役員会	平成21年1月28日(水) 済生会和歌山病院	6名	役員	次年度の事業計画 連盟との合同研修内容検討 研修会検討・新役員の依頼	
看護連盟・協会 合同研修会	平成21年3月14日(土) ビッグ愛 801、802号室	82名	会員	研修会 「ストレスマネジメント」	
第2回 施設代表者会議	平成21年3月16日(月) 済生会和歌山病院	34名	施設代表者 役員	新看護研修センターについて 平成20年度看護協会事業の経過 平成21年度看護協会事業に向けて	
地区支部役員会	平成21年3月16日(月) 済生会和歌山病院	5名	役員	「まちの保健室」の打合せ	
今後の課題	看護協会員の確保。92施設および58人の個人会員への情報伝達をスムーズに行う工夫が不可欠である。 また、会員ひとりひとりが協会の活動に興味をもって、積極的に関わっていただけるよう、研修会等の事業を行っていく必要がある。				

### 海南・海草地区支部

支部長 小出 栄子

#### 活動目標

1. 地区支部会員の資質の向上と交流を図る 2. 地域住民の生活習慣病予防・介護予防を推進する

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
支部役員会	平成20年4月15日(火) 海南保健所	10名	役員	・看護週間行事、研修会及び総会の開催について ・看護協会長表彰の推薦について ・1日まちの保健室について	
1日まちの保健室	平成20年5月12日(土) とれたて広場	159名	一般	・健康相談（生活習慣病） ・骨密度、血圧、体脂肪測定	家庭で測定出来ない骨密度が大人気で、測定 値の低い方には栄養指導とウォーキング効果・ 生活習慣病予防などの説明を行い好評でした。
支部役員会	平成20年6月17日(火) 海南保健所	8名	役員	・総会の運営について ・研修会の開催について ・老人看護月間行事について ・1日まちの保健室の反省	
総 研 修 会	平成20年7月5日(土) 海南市保健 福祉センター	110名	会員	・平成19年度事業報告・決算報告 ・平成20年度事業計画案・予算案 講演：「ターミナルケア～ホスピス認定看護師に学ぶ～」 講師：和歌山県立医科大学附属病院 榎山 美佳 先生	終末期の時間を安楽に過ごし、納得のできる死 を迎えるための援助を学ぶことができました。
支部役員会	平成20年9月9日(火) 海南保健所	10名	役員	・老人看護月間行事と健康まつり参加について ・総会・研修会の反省 ・次回支部研修会について	
海南市健康まつり	平成20年10月19日(日) 海南市保健 福祉センター	200名	一般	・脳の老化度チェック 豆つかみ、かなひろいテスト	健康まつりでの「脳の老化度チェック」は、 地域にしっかり根ざしてきています。大人も 子どもも楽しんで頂けました。
支部役員会	平成20年12月16日(火) 海南保健所	8名	役員	・健康まつりの反省 ・研修会の運営について	
研 修 会	平成21年1月10日(土) 県子ども・障害者 相談センター	132名	会 非 会 員	講演：「感染管理について ～看護・介護実施時の予防と対策～」 講師：土井 英史 先生	
支部役員会		8名	役員	・研修会の反省 ・総会・研修会について ・看護週間行事について（1日まちの保健室）	
施設会員代表者会議	平成21年3月17日(火) 海南保健所	20名	施設会員代表者 役員	・看護研修センターの土地取得と建設計画について ・平成20年度和歌山県看護協会事業経過報告について ・平成21年度和歌山県看護協会事業に向けて	
今後の課題	「1日まちの保健室」や老人看護月間行事の健康まつりへの参加は、一般住民と接することになり、看護協会を地域の方々にPR できるよい機会となっている。				

### 有田地区支部

支部長 中島 和美

#### 活動目標

- ・地域住民へ看護協会活動を通して看護の力をアピールしよう

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他（参加者の反響・主催者の感想）
1日まちの保健室	平成20年5月17日(土) オークワ箕島店	19名 140名	役員・協力員 住 民	・健康診査（メタボリックシンドロームを中心 に）血圧測定・体重測定・体脂肪測定・腹囲 測定・標準体重と肥満度 ・健康相談 ・子供の記念写真（看護師の格好で） ・記念品の配布	・日頃、自分は健康と思っていたが、体脂肪 の多さにびっくりされていたケースもあっ た。健康・メタボリックについての関心が 高まったと考える ・今回は、協力員が多く、一般参加者の待ち 時間が少なくスムーズに行えた。

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
第1回役員会	平成20年5月29日(木) 済生会有田病院	7名	役員	・1日まちの保健室の報告 ・平成20年度支部総会について ・平成20年度役員について ・第1回研修会について ・会館建設預託金について ・新旧役員の引き継ぎについて	・研修会の内容(接遇研修) 一般常識・電話でのマナー・死亡退院時のお悔やみの言葉などを中心にお願する。
平成20年度有田地区支部総会		98名	会員	1.平成19年度事業報告・決算報告 2.平成20年度事業計画案・予算案 3.平成20年度通常総会代議員報告	地区支部の1年間の活動を報告するとともに、新年度の事業計画について説明した。質疑後採決承認される。
第1回研修会	平成20年6月14日(土) きびドーム	98名	会員	「接遇研修」 講師：日本現代作法会 羽山 京子 先生 ・接遇とは ・看護の心を形に代えて伝える ・あなたと病院の第一印象を大切に ・電話のマナー ・危篤、訃報の時の態度と言葉づかい	参加者の意見としては、概ね興味があり、理解できた、時間配分もちょうどよかった、この声が多かった。
第2回役員会	平成20年7月24日(木) 有田市立病院	8名	役員	1.「接遇研修」の振り返り 2.県協会よりの検討事項(履修記録について) 3.ナース専推薦の件について 4.老人看護月間行事について	1.100%満足する研修ではないか 2.本人管理の履修記録は不要。研修を受けるために研修終了を条件としたものもあるため、データベースとして保管しておいてほしい。 3.推薦を待つ 4.有田市の行事に参加する。
老人看護月間行事	平成20年10月5日(日) 有田市民会館	13名 116名	役員・協力員 住	有田市の老人クラブ祭に参加し、老人の方の血圧測定・体脂肪率測定・健康相談等を実施	老人クラブ祭に来られた方に実施、喜ばれた。
第3回役員会	平成20年12月17日(水) ドリーム	8名	役員	1.老人看護月間行事について 2.地区支部看護研究発表会について 3.新看護研修センターについて	1.来年度も同様の行事とする。 2.平成21年2月28日有田市民会館を予定。 3.現状を説明、検討する。
第2回研修会	平成21年2月28日(土) 有田市民会館 1階会議室	69名	会員	看護研究発表会 演題11題	アンケート結果では、70%の参加者が役に立つ、内容に満足という意見であった。「有意義であった」という意見もあったが、会場運営に今回は、改善しなければならない点の指摘も受けた。
第4回役員会	平成21年2月28日(土) 有田市民会館	9名	役員	1.1日まちの保健室について 2.平成21年度支部総会日程について	
施設会員代表者会	平成21年3月10日(火) 有田市立病院	11名	役員	1.看護研修センターの土地取得と建設計画について 2.平成20年度和歌山県看護協会事業経過報告について 3.平成21年度和歌山県看護協会事業に向けて 4.意見交換	木村佐多子会長より、看護研修センターの土地取得と建設について現在の状況を踏まえた十分な説明があり、支部役員からは、率直な意見が寄せられた。
第5回役員会	平成21年3月10日(火)	9名	役員	1.平成22年度代議員推薦について 2.看護研究発表会の振り返り	
今後の課題	地域住民へのアピールとしては、2回の行事を実施した。今年度は、5回の役員会の中で理事会報告が十分になされなかったことを反省する。来年度は、時間の関係もあるため、資料を十分に準備しておきたい。現行の会員だけでなく、未加入の看護職員にも協会の活動を理解して頂けるよう広報活動し、研修会などにも積極的に参加を呼びかける。そして、新看護研修センター建設に向けて、会員数の増加をはかる。				

## 日高地区支部

支部長 田中澄代

### 活動目標

・地域住民の健康をサポートし、地域と密着した活動を行う

行事名	開催日・場所	参加者数	対象者	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	平成20年5月10日(土) スーパー松源	50名	地域住民	各種身体測定・健康相談	屋外での開催のため天候に左右されるので開催場所の検討が必要。
第1回役員会	平成20年5月10日(土) 北出病院アクト	7名	役員	開催行事の反省 総会及び会員研修について	
総会		62名	看護師 准看護師 保健師	1.平成19年度事業報告及び会計報告 2.平成20年度事業報告及び予算案 3.新役員紹介	
平成20年度第1回会員研修	平成20年7月5日(土) 和歌山病院			講演：「後期高齢者医療制度について」 講師：和歌山県後期高齢者医療広域連合 事務局長 田中 友喜 先生	後期高齢者医療制度についての理解を深められた。
第2回役員会		7名	役員	総会及び会員研修の反省 看護月間行事について	
第3回役員会	平成20年11月7日(金) 和歌山病院	7名	役員	看護月間行事役割分担	
看護月間行事	平成20年11月23日(日) カルフォル・ドールポ印南 在宅介護支援センター	150名	地域住民	各種身体測定 骨密度 健康相談	「いなみ・みのりの交流祭」イベントの会場で月間行事を行ったので、多数の地域住民の方々と交流ができ、保健指導を行った。
第4回役員会		7名	役員		
平成20年度第2回会員研修	平成21年2月28日(土) 和歌山病院	80名	看護師 保健師 助産師他	講演：「患者満足度の高い職場を目指して今何が必要か？」 講師：香取感動マネジメント 代表 香取 貴信	東京ディズニーランドでの8年間の勤務を通して、「すべてはお客様のために」の基本理念で人の心に感動を与える講演は、参加者に好評であった。
第5回役員会		7名	役員	開催行事の反省 「1日まちの保健室」について	
地区施設会員代表者会議	平成21年3月9日(月) 和歌山病院	10名	和歌山県看護協会会長 同常任理事 施設会員代表者	・看護研修センターの土地取得と建設計画 ・平成20年度県看護協会事業経過報告 ・平成21年度県看護協会事業に向けて ・意見交換	
今後の課題	1.日高地区支部会員数の増加に向けた取り組み 2.看護連盟との連携 3.会員にとって魅力ある研修会の企画				



## 保健師のコーナー

保健師職能委員 土橋 まどか

### 近畿ブロック 保健指導ミーティングに参加して

平成 20 年 4 月から医療制度改革の大きな柱である特定健診・特定保健指導がスタートし、一年が経とうとしています。行動変容を促す保健指導の難しさを感じてらっしゃる方も多いと思います。

今回、和歌山県保健師職能委員会では、近畿地区 2 府 4 県合同で企画した「保健指導ミーティング」に参加しました。この保健指導ミーティングは、日本看護協会が厚生労働省の委託を受けて推進している「生活習慣病予防活動支援モデル事業」を基にしながら、今までの保健指導やグルーブトークを振り返る機会として開催されたものです。午前の講演では、今こそ、保健師としての専門性を確立し、質の高い保健指導が求められるとエールをいただきました。午後のシンポジウムでは、特定保健指導にグルーブ支援を取り入れている地域の実践報告が

ありました。

グルーブ支援の事前準備として、家庭訪問を行うことで、住民の声を聞き、個人の問題から共通する住民の生活実態や市の課題が見えてきたと話されていました。また、グルーブ支援の教室では、その地域で暮らす住民の生活実態を反映させた事例を模造紙で作成し、住民に日常生活を自然と意識化してもらおう取り組みも紹介されました。統計資料の分析はもちろん大切ですが、住民の顔が見える保健活動の重要性を改めて感じました。

法改正等で、保健師の役割は多様化し家庭訪問が少なくなってきた現状ですが、住民に寄り添いながら個人から家族・集団・そして地域に働きかけるという保健師の姿勢を大切にしながら活動していきたいと思えます。

## 助産師のコーナー

社会保険紀南病院 政ヶ谷 賀子



私は助産師として社会保険紀南病院に勤務して 12 年になります。

平成 19 年より社会保険紀南病院は地域の周産期母子医療センターの認定を受けました。平成 18 年南和歌山医療センターの産婦人科病棟の閉鎖に伴い、昨年の分娩件数は 872 件、産婦人科手術も 400 件を越える

現状となり、マンパワー不足が問題となっています。

そんな中私たちは妊産婦が安心して妊娠生活を過ごし出産に望めるように、妊娠各期に応じた保健指導や栄養指導、母親教室やマタニティビクスを行い、妊娠初期から妊産婦とスタッフとの人間関係を形成し、情報提供や

コミュニケーションを図り、不安の軽減に努めています。母乳栄養については妊娠中の個別指導に加え、母乳栄養が確立できるよう母乳指導を中心とした中期母親教室を行い、退院後には、平成 19 年から母乳外来を立ちあげ、妊娠から退院後まで継続したかわりを持ち、楽しい母乳育児ができるように支援しています。また電話訪問や電話相談もおこなっています。

現在妊産婦の取り巻く環境は、核家族化、少子高齢化、社会経済の変動ととも厳しいものです。助産師の果たす役割は大きく、さらに深く妊産婦とかかわりがもてるように、助産師外来も視野にいれ、日々スキルアップに努めていきたいと思えます。

## 看護師のコーナー

看護師職能委員 廣畑 美峰

看護師職能委員をさせていただき 2 年の任期が終わろうとしています。

看護師職能委員として「何をするのか」「私で勤まるのか」と大変不安でした。委員長をはじめ、委員の皆さんに助けてもらい無事大役を終えさせてもらう事が出来ました。

2 年間、委員会の中で委員長からいつも「職能委員として何が出来るか」ということをよく投げかけられました。自問自答しながら、自分のことだけではなく、共に働く看護師のことを考えて活動する中で、看護の抱える問題や課題を考える事が出来ました。

職能集会の開催や、働き続けられる職場づくりとして、

子育て支援や、職場づくりサポートブックの実態調査などをさせていただきました。平成 19 年 1 月から取り組みはじめた、「やさしい倫理だより」の作成は看護倫理について、あらためて見直し、自分たちが経験している臨床現場での例などを取り上げて作成しております。職場で倫理を考えるきっかけにいただければと思います。個人的には通信制の看護学生である私は、むずかし言葉ではなく、看護倫理を身近に感じ考えることができ看護を振り返る基盤となっています。

今後は一会員として「やさしい倫理だより」が届くのを楽しみにしています。

ありがとうございました。



# まちの保健室

運営委員長

北本 智恵

まちの保健室は、平成 20 年 9 月から「メッサオークワ ガーデンパーク和歌山」において、セカンドキャリアや助産師職能委員会の協力のもとに奇数月の第 3 土曜日の午後の 2 時間開催しています。実施内容は、身長・体重・体脂肪・血圧・骨密度の各測定と保健師・栄養士による健康相談。そして助産師からは「妊産褥婦の保健指導」「更年期相談」大変好評な「ハンドマッサージ」も行っています。

広報は「ニュース和歌山」や「リビング」への無料掲載や、開催場所にポスター掲示をしています。70 名前後の参加者は遠方からの方や買い物ついでの方まで、

年齢も 10～90 代までと幅広くなっています。掲示のポスターに次回開催日を記載することでメモをとって帰られ、次回リピーターとして来られる方も増えました。

高齢化がすすむ中、医療は治療から予防へと移行しています。参加者の健康意識の高かさからも、生活習慣病予防のサポートに向け 3 職能の専門性を生かし、相談機能を拡大し、参加者のニーズに対応できるよう努めてまいりたいと考えております。今後も皆様のご協力お願い致します。

## リレーエッセイ ★ 友達の輪 NO.28

### 『健康のもと』



日本赤十字社和歌山医療センター 塩路 まり子

根来寺の前山、五百仏山遊歩道は約 3 キロのハイキングコースで四国八十八箇所の祠が祀られている。我が家から往復 2 時間程度、愛犬「クウ」を連れ、夫婦できままに歩くには最適である。秋、紅葉の木漏れ日と落ち葉の中を歩く、冬の落ち葉は要注意。

なだらかな尾根伝いや起伏の激しい上り下りの細道を、その日の気分で散策する。憂鬱な日々も、自然に慰められ、笑顔が戻る。散歩の御蔭、健康であることに感謝する毎日です。

(次回は、愛晋会 中江病院 野島麻美さんです。)

## 私の○○○

### 私の楽しみ方

高野町立 高野山病院 寺崎 孝子

勤務地が高野山なので、自宅の紀の川沿いから山まで近道となる少々険しい自然のなか車を走らせるのですが、これが私の「楽しみ」のひとつなのです。手前味噌ではありますが、風景写真を撮ったり、短歌をひとひねりと趣味も拡がりつつあります。

春は草木が芽吹き、花が咲き夏を迎え、秋には山々

の紅葉を眺め、そして冬の静かな雪景色・・・と私の感じ方で毎年ちがう表情を見せてくれます。たまに大雪、土砂崩れなど自然の恐怖を感じることもありますが、シャッターチャンスとプラス思考に切り替えて、これから何事も多いに楽しんでいきたいと思えます。



## My Hospital 和歌山ろうさい病院



患者の安全を守り、  
安楽で安心できる  
看護を提供します。



皆様こんにちは。和歌山ろうさい病院は、平成21年1月に新病院に移転しました。地域医療支援病院として24時間の救急医療を担い、働く女性メディカルセンターや糖尿病センター、脳血管内治療センターなど診療機能の充実を図っています。患者様が「やすらぎ」を感じられる療養環境を整え、院内の案内の表示に加えて病室の入り口にお花の写真を飾るなど癒しの場を作りました。

看護部は「安全・安心・安楽な看護の提供」を理念に掲げ、固定チーム継続受け持ち方式で看護を提供しています。看護部の運営は、業務部門と教育部門に分かれて活動しています。平成19年度より7対1看護体制を導入したことで、直接看護が増え患者の満足度が上がりました。助産師外来・特定保健指導・糖尿病療養指導・摂食嚥下障害看護・皮膚排泄ケア・緩和ケア・がん化学療法看護などの分野で各職能が専門性を発揮しています。

教育はクリニカルラダーの段階別教育とし、ジェネラリスト、専門領域の看護師、臨床指導者、看護管理者等の人材育成を行っています。プリセプターシップによる新人へのバックアップ体制で卒後1年以内の離職は“0”になりました。また出産後の育児支援として保育所や復職者研修を充実することで、ワーク・ライフ・バランスを保ち、働きやすい職場環境を作っています。



### 保育所 りばてい保育園

私はH20年4月に育児休暇より復帰しましたが、H19年度より当院に託児所(りばてい保育園)ができ、復帰の際に子供をどうしようかという悩みは解消されました。園の先生方はとても頼もしく、安心して子どもを預けて仕事することができて助かっています。

病棟看護師



### 新生児集中ケアについて

日本赤十字社和歌山医療センター

新生児集中ケア認定看護師 岡 由佳

現在、少子化が進む一方、高齢出産、不妊治療による多胎妊娠などのハイリスク出産が増加しています。しかし、NICU（新生児集中治療室）が満床という理由で、ハイリスク妊婦の救急搬送が拒否されるという現状があります。

「新生児集中ケア」は、2005年から認定が始まり、新生児及びその家族を対象とし、新生児領域における最新の幅広い知識・技術を用いて、より質の高い看護を実践する分野です。主な活動の場は、NICUで、現在113名の「新生児集中ケア」認定看護師が全国で活動しています。急性かつ重篤な状態にある新生児に対し、母体外での身体的、生理学的安定を図り、後障害の予防に努め、親子関係形成を支援する役割を担っています。

新生児を一人の人間として尊重し、言葉で意思を表現できない新生児の小さなサインを見逃さず、ストレスや痛み刺激などをできるだけ緩和できるよう、体位や環境を整え、ケアを調整します。

また、親子分離を余儀なくされた両親に対して、家族自らの力で、新生児を中心に家族として成長できるよう支援していきます。家族を医療チームの一員として捉え、新生児をケアできるように働きかけ、家庭保育に向けて他職種や他部門、地域と連携、協働するための調整も行います。また、日々の看護実践の中で、新生児と家族にとって何が最善かをスタッフともに考え、スタッフ自身がよりよいケアを見つめられるよう、指導しています。さらに、院内看護師や看護学生を対象に新生児についての勉強会なども実施しています。

現在は院内での活動が主ですが、県内の「新生児集中ケア」認定看護師と協力して、和歌山県下の新生児ケアの質の向上を目指すとともに、ハイリスク新生児がいつでも受け入れられるネットワークの充実に向けて、他施設との関わりを深めたいと考えています。

### 社会保険紀南病院

新生児集中ケア認定看護師 村田 純子

新生児集中ケア認定看護師は、急性期のハイリスク新生児のベッドサイドケアにあたり「急性かつ重篤な新生児の救命と全身管理とケア・危機状態にある親の心理を理解し、親が子どもと良好な関係を築いていくためのケア」を担う事を役割としています。生後約1週間という短い期間ではありますが、新生児にとっては母体内生活から母体外生活に移行する時期、両親にとっては親子関係・親役割習得が始まる重要な時期のケアとなります。

新生児医療は新生児の生命を救う事が最大の課題であった時代から、救命率の向上に伴い「後遺症なき生存」へと発展してきました。私も出生直後から救命と同時に後遺症なき生存に向けた関わりが必要と考えています。新生児を「ひとりの人」として尊重し、愛情と優しさを持ったケア、新生児の行動と生理的反応をみながら、ひとり



ひとりに合った個別的ケアを提供し、新生児と家族が中心となる看護を実践する事が大切です。NICUの環境や生命維持の為に優先される処置やケアがストレスとなり、新生児の将来に及ぼす影響が懸念されています。私は将来に大きな影響を与える重要な時期の新生児と家族の看護を行っている事を常に意識する事も重要と考えています。

現在は産婦人科病棟で勤務しており、産科スタッフが新生児蘇生法について知識や技術を習得したいと思っている事を知り、子どもがNICUに入院となった母親の気持ちをストレートな言葉で聞くことが出来ました。母親の新生児に対する想いを傾聴し愛着形成への援助を行い、新生児蘇生法について知識を共有し出生直後のケアを充実させる事を目標として活躍出来ればと考えています。

県内には私を含む3人の新生児集中ケア認定看護師が活動しています。新生児医療の視点を「新生児と家族中心のケア」へと発展させ、新生児と家族にとってよりよい看護の提供が出来るように情報交換を行う事が今後の課題です。



和歌山県看護協会では、2月15日(日)看護協会・看護連盟合同研修会として、日本看護協会 たかがい恵美子常任理事をお迎えして講演会を開催致しました。「診療報酬から見る看護の展望」というテーマでお話し頂きました。

たかがい理事は、東京から来和下さり、折からの強風で20分飛行機が遅れたとのことで開空からタクシーで駆けつけて下さいました。お疲れではないかと心配致しましたが、ご講演では、そんな様子は微塵もなく、パワフルに歯切れ良いご講演で、会員も引き込まれて、あっという間の2時間でした。

内容は、診療報酬や介護報酬の仕組みや7:1看護算実現等政策決定に至る過程等を、厚労省でのご経験からのエピソードもまじえながら、楽しくご講演下さいました。

### 看護協会・看護連盟合同研修会

そして何よりも、恐れず怯まず果敢に、看護界のために取り組んで下さるたかがい理事の情熱に感激すると共に、大きく背中を押して頂いていることを実感致しました。

参加者のアンケートの声の一部をご紹介します。  
 「看護界のリーダーとして信頼できる方素敵です」  
 「診療報酬を看護の視点で信念を持って粘り強く改定して頂いたことがよくわかった」  
 「私達の代表として、とても頑張って下さっているのが良く分かった」  
 「看護職自身も社会にアピールしていくことが大切であると思った」  
 「議員の代表に看護職が必要だと改めて痛感した」  
 「看護の目指す方向性を根拠を持って教えてもらえた。パワーを頂いた研修会でした」  
 「開業看護師の今後の活躍の場が広がっていくこと、政策に組み込む重要性を再確認させて頂きました」  
 「看護の質を上げるには声を出して訴えることの大事を感じた」等等



「まちの保健室」事業に、アゼリアロータリークラブ様が賛同下さり、3月2日(月)アパローム紀の国において贈呈式が行われ、20万円の寄付をいただきました。

### ● 寄付

上坂 良子 様より  
ご厚志 金8万8千円